

- 問1 平安時代に「かな（仮名文字）」が作られ、広く普及したことが、当時の日本の文化に与えた影響として最も適切な説明はどれですか。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 朝鮮半島から伝わった新しい印刷技術と結びつき、庶民の間で学問が急速に普及した。
 2. 武士が戦場での出来事を素早く記録するための実用的な文字として、東国を中心に広まった。
 3. 日本人の感情や思いを表現しやすくなり、物語、随筆、和歌などの日本独自の文学が大きく発展した。
 4. 中国の進んだ政治制度や仏教の教典を、より正確に日本国内へ紹介することが可能になった。
- 問2 奈良時代には『万葉集』に見られるように、漢字の音や訓を日本語の表記にあてはめた「万葉仮名」が使われていましたが、平安時代になると、漢字を簡略化するなどして日本独自の文字が作られました。この文字が普及したことで、人々の感情や生活を細やかに表現できるようになった日本独自の文化を何と呼びますか。（2019年 長野県公立入試 類似）
1. 天平文化
 2. 国風文化
 3. 弘仁・貞観文化
 4. 飛鳥文化
- 問3 平安時代末期に有力な武士団として台頭した平氏は、天皇家から枝分かれした平高望を祖とするなど、非常に高貴な血筋を引いています。このような平氏の出自について、正しい説明を選択してください。（2023年 沖縄県公立入試 類似）
1. 代々地方を治めていた有力な豪族の末裔
 2. 源氏の家系から分かれた一族
 3. 天皇の子孫であるという血筋
 4. 大陸から渡来した技術者集団を祖とする家系
- 問4 平安時代中期、藤原氏は自分の娘を天皇のきさき（妃）とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の母方の親戚（外戚）として朝廷の権力を独占しました。このような政治形態を何と呼びますか。（2017年 埼玉県公立入試 類似）
1. 親政
 2. 摂関政治
 3. 院政
 4. 執権政治
- 問5 白河上皇が院政を開始する前提となった、当時の皇室と藤原氏との関係性の変化について述べた説明として、最も適切なものはどれか。（2024年 新潟県公立入試 類似）
1. 遣唐使が廃止され、国風文化が広まったことで天皇の権威が向上した。
 2. 平氏が武士として台頭し、藤原氏を政治の中枢から完全に追放した。
 3. 藤原氏を外戚に持たない後三条天皇が即位したことで、摂関家の影響力が弱まった。
 4. 承久の乱の結果、幕府が朝廷の政治に介入するようになった。
- 問6 国風文化が栄えた平安時代の貴族の生活空間において、広い庭園を囲むように中心となる建物と周囲の建物が廊下で結ばれた建築様式を何というか。（2022年 京都府公立入試 類似）
1. 合掌造
 2. 武家造
 3. 書院造
 4. 寝殿造
- 問7 平安時代後期、奥州藤原氏が平泉に中尊寺などの寺院群を建立した背景や目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 東京都公立入試 類似）
1. 聖武天皇の命により、東北地方の安定を図るための国分寺として建立されたため
 2. 前九年・後三年合戦による戦没者を弔い、浄土思想に基づく平和な社会を築くことを願ったため
 3. 平清盛が推進した日宋貿易に対抗し、東北独自の金輸出ルートを確立するための象徴としたため
 4. 源頼朝の軍勢による攻撃を阻止するため、要塞としての機能を持つ巨大な寺院を建設したため
- 問8 平安時代に発達した「かな文字」が、当時の文化に与えた影響についての説明として最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。（2023年 群馬県公立入試 類似）
1. 中国の宋から伝わった漢字の読み方を正確に記録するために、公文書のすべてで「かな」が使われるようになった。
 2. 仏教の教えを庶民に分かりやすく伝えるため、サンスクリット語の文字を簡略化して作られた。
 3. 漢字を書き崩すことで日本語の発音が表現しやすくなり、『源氏物語』などの優れた文学作品が生まれた。
 4. 万葉集などの和歌を、意味を重視した漢字一文字のみで記録する手法として全国に広まった。
- 問9 飛鳥時代から奈良時代にかけて、日本は中国の制度を取り入れた中央集権的な国づくりを進めました。701年に制定され、刑罰に関する規定と政治の仕組みに関する規定をまとめた、律令国家の基礎となる本格的な法令は何ですか。（2020年 愛媛県公立入試 類似）
1. 十七条の憲法
 2. 大宝律令
 3. 養老律令
 4. 五成敗式目
- 問10 平安時代の建築や彫刻は、当時の信仰と深く結びついていました。当時の代表的な建造物の特徴を説明した資料において、内部に阿弥陀如来像を安置し、壁画などで極楽浄土の様子を再現しようとした藤原氏ゆかりの建物はどれですか。（2019年 静岡県公立入試 類似）
1. 鹿苑寺金閣
 2. 東大寺大仏殿
 3. 平等院鳳凰堂
 4. 法隆寺五重塔
- 問11 遣唐使の停止などにより、日本独自の気風に基づいた国風文化が発達した平安時代において、『源氏物語』などの文学作品が多く生まれた背景として、最も適切な説明はどれか。（2024年 千葉県公立入試 類似）
1. 中国の宋から大量の紙が輸入され、誰でも安価に本を作れるようになったため。
 2. 漢字を簡略化した「かな文字」が普及し、微妙な感情や様子を豊かに表現できるようになったため。
 3. 幕府による学問の推奨により、武士の間で長編小説を書くことが流行したため。
 4. 仏教の教えが民衆に浸透し、読み書きができる農民が爆発的に増えたため。
- 問12 平安時代の天皇の呼び名は、しばしばその住まいの場所に由来します。一条天皇という名称の由来となった、当時の居住形態と立地に関する記述として正しいものはどれですか。（2026年 愛知県公立入試 類似）
1. 本来の皇居である大内裏の外部に設けられた「里内裏」と呼ばれる仮の御所が、平安京の北端にある一条大路に面していたため。
 2. 藤原道長の邸宅が一条大路から遠く離れた場所にあり、そこへ避難した際に「里（地方）」に住む天皇として御掄されたため。
 3. 三条天皇の治世から数えて第一の功績があったことを称え、平安京の中心を通る一条大路から名付けられた尊称であるため。
 4. 藤原氏の勢力が増したことで、大内裏の中にある「一条」という名称の特定の私室に閉じ込められ、そこで政務を行っていたため。
- 問13 平安時代の摂関政治が行われていた時期、地方政治の現場では大きな変化が起きていました。本来、地方の行政を担うべき国司が、任地に赴かずに京都に留まったまま、その土地の収入のみを得るといった形態が増加しました。このような国司のあり方を何と呼びますか。（2023年 奈良県公立入試 類似）
1. 受領
 2. 遙任
 3. 地頭
 4. 守護